

プロジェクトに関係した研究成果

働き方改革研究プロジェクト（主査：櫻井雅充）

櫻井雅充・渡邊丈洋（2019）「生産性向上を意図したワーク・ライフ・バランス支援がもたらす影響：トヨタ自動車における働き方変革の事例」『中京企業研究』第40巻（掲載予定）。

地域経済と中小企業の研究（主査：寺岡 寛）

- ①『文化ストック経済論—フロー文化からの転換—』信山社（2017年11月）
- ②『中小企業の経営社会学—もうひとつの中小企業論—』信山社（2018年7月）
- ③『ソディの貨幣制度改革論—ノーベル賞化学者の経済学批判—』信山社（2018年10月）

「再帰性とその適用領域の研究」（主査：中西真知子）

（著書）

中西真知子（2018）『リサーチの思考と技法—逆転発想で再帰的に』ミネルヴァ書房

（論文）

Machiko Nakanishi（2017）「Japanese Reflexivity and the Japanese market」『中京経営研究』26巻

中西真知子（2018）「日本の再帰性と日本の市場」『政策科学』25-3

（翻訳）

Lash, S., Urry, J., 1994, *Economies of Signs and Space*, London:Sage. (= 2018 安達智史監訳『記号と空間の経済』晃洋書房.) 中西真知子、鳥越信吾他訳

（その他）

中西真知子（2018）「笑顔と会話の市場—対面コミュニケーションの楽しみを」『月刊なごや』2月号

（発表）

Machiko Nakanishi（2018）'Japanese Reflexivity and Japanese Society'）XIX ISA World Congress of Sociology, Toronto 発表

寄能雅文他「ビッグデータ時代におけるDWHの問題点とクラウド型DWHの有用性に関する考察」第30回商品開発・管理学会大会、京都大学 発表

知識共有と動機（主査：向日恒喜）

Tsuneki Mukahi, "The Effect of Contingencies of Self-Worth on Self-Esteem and Knowledge-Sharing Behavior in Organizations," International Conference of Organisational Learning, Knowledge and Capabilities, 2018

向日恒喜「職場における本来感と優越感が知識提供動機に与える影響」、『産業・組織心理学会第34回大会発表論文集』、2018年。

向日恒喜「職場における自尊感情のマネジメント：障がい者雇用企業からの考察」、『経営情報学会2018年度秋季全国研究発表大会』、2018年。

